

化学療法プロトコール

申請日： 平成 27年11月4日 申請医師： 中屋 勉
 診療科： 外科 癌腫： 大腸がん
 実施区分： 入外共通

| | | |
|--------|---------|-------------------------------------|
| 管理番号 | C030051 | レジメン名： Bev+CapeOX(末梢用)(Cape:4200mg) |
| 1コース期間 | 3週 | 総コース数 |

備考：

カペタ
 ビンC法:BSA<1.36㎡・・1200mg/回 1.36㎡≤BSA<1.66㎡・・1500mg/回 1.57㎡≤BSA<1.96㎡・・1800mg/回 1.96㎡≤BSA・・2100mg/回・オキサリプラチンによる急性の神経障害は投与後数日間に出現しやすい。また、遅発性の末梢神経障害は用量依存性である。・オキサリプラチンによるアレルギー症状は初回投与時から出現しやすい。特に6コース以降注意。発現時間は投与30分以内が多い。・カペタピンによる手足症候群により、手足の皮がむけた場合はテルモゾールG軟膏などを用い、痛みがあり歩けない、細かい作業ができないなどの症状があれば、カペタピンの減量を考慮。保湿剤の使用を確認。尿蛋白2+以上でヘパシズマブ休業。

| 番号 | 薬剤名 | 基準投与量 | 投与量上限 | 規格 | 投与方法 | 投与スケジュール(day1等) |
|----|----------|--------------|-------|----|------|-----------------|
| 1 | ペバシズマブ | 7.5 mg/kg | | 自動 | 点滴 | day1 |
| 2 | オキサリプラチン | 130 mg/㎡ | | 自動 | 点滴 | day1 |
| 3 | カペタピン | 4200 mg/body | | 自動 | 内服 | day1～day14 |

備考：

実施内容

| | |
|---|--|
| <p>day1 処方 <内服> 臨時 <4mg> デキストロン錠4mg 2錠 朝1錠、昼1錠 ★点滴日の翌日より内服 朝 昼 食後30分 2日 <内服> 臨時 カペタピン 4200 mg/body 朝 夕 食後30分 14日 <外用> 臨時 ハーリン類似物質油性クリーム0.3%(25g/本)(ヒルドイドソフト軟膏) 50g 1日2回 手、足</p> <p>注射 <1> 点滴 セイヨク(生食) 【100mL】 ●● 1瓶 ★プライミング・ウォッシュアウト用 <2> 点滴 ペバシズマブ 7.5 mg/kg セイヨク(生食) 【100mL】 ●● 1瓶 ☆初回90分・2回目60分・以降30分で点滴 <3> 点滴 デキストロン点滴静注バッグ 3mg/50mL「HK」 1袋 【H】 【6.6mg】 デキスト注射液 6.6mg/2mL 1瓶 ☆15分で点滴 <4> 点滴 オキサリプラチン 130 mg/㎡ 【H】 デキスト注射液 3.3mg/1mL 1A フドウ糖注 5%≪500mL≫ 1袋 ☆120分で点滴</p> <p>予約 施設予約 外科 時間指定なし 化学療法 外来化学療法</p> | |
|---|--|